



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にものみお送りしています

第 38 号(2011 年 12 月 12 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

---

一気に冬らしくなってきました。法学部だより第 38 号をお届けします。

目次

- 法学部共同研究の活動報告～2011 年度外国人集住都市会議に参加して～
- ゲッティンゲン便り～リーゼルの泉のほとりで (第 1 回)
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

- 
- 法学部共同研究の活動報告～2011 年度外国人集住都市会議に参加して～

11 月 8 日 (火) に、長野県飯田市で開催された第 11 回外国人集住都市会議に河原先生 (国際政治学) と李先生 (国際法) とともに参加しました。この会議は、南米系などの外国人住民 (ニューカマー) が多く住む地域の行政機関や団体が情報交換し問題解決に取り組むことを目的としています。全国で 28 都市が加盟しており、岡山からはブラジル人の多い総社市が昨年来西日本から唯一の加盟となっています。

岡山大学法学部では、国際関係法教員や政治学担当の一部の教員を中心として、県や市と「岡山多文化共生政策研究会」(2009 年正式発足、座長：黒神) を立ち上げ、県内に在住する外国人の調査研究を進めて参りました。これまでの実績が認められ、今年度は、この多文化共生研究プロジェクトが学長裁量経費 (地域貢献支援経費) の助成事業として採択されるに至りました。今回の会議出席はこの事業の一環です。

今年の外国人集住都市会議では、「日本語で生活するために必要な施策/安定して働くために必要な施策」、「子供を大切に育てていくために必要な施策」、「社会の中で困ったときのために必要な施策」などのテーマの下、各都市が各ブロックに分かれて提言を行いました。この会議の特徴は、会議に関係省庁 (法務省、外務省、厚労省、文科省、文化庁、内閣府など) の担当官が出席し、各都市からの提言や要望にじかに答えるところにあります。外国人集住都市会議は、自治体の要望を国に直接訴えることができる場を提供する極めて貴重な会議であることがよくわかりました。具体的に、会議では、公立小中学校に学ぶ外国人支援のためにプレクラスや日本語指導を行う教員の配置、日本語教材の翻訳版 (リライト教材) などの支援、また、外国人労働者に対する日本語習得のための職業訓練やハローワークでの多言語による職業相談、さらに、特に災害等緊急時の多言語による情報提供の必要性などを国に求める声が上がりました。印象深かったこととして、会議の席上、鈴鹿市長が、国の方針としてミャンマーからの第 3 国定住難民を受け入れたにもかかわらず、十分なサポートが得られていない窮状を強く訴えておられました。

このたび外国人集住都市会議に参加する機会を得ることができ、実に多くの知識とネットワークを得ることができました。われわれの共同研究グループの今年度の予定として、さらに外国人集住都市を対象に出張調査を行って現実に生起する問題点を分析検討し、岡山県や市への政策の一助となるよう提言していきたいと考えています。また、来年度にはわれわれの実績をまとめて書籍を出版し、教養科目等の授業を展開していく予定です。

法学部教授 黒神直純 (国際機構法)

- 
- ゲッティンゲン便り～リーゼルの泉のほとりで (第 1 回)

刑法を担当している一原です。今年 9 月より、在外研究のためドイツのゲッティンゲンに滞在しています。この「ゲッティンゲン便り」では、ドイツの様々な事柄について、私が見聞きしたり感じたりしたことを交えてご紹介していきます。

第 1 回目は、ゲッティンゲンについて。ゲッティンゲン市はドイツのほぼ中央部にある大学町です。正直など

ころ、ベルリン、フランクフルトやミュンヘンといった有名な都市と比べると、日本人にとってあまり馴染みがない街だと思いますが、いわゆるメルヘン街道の真ん中辺りと言えばわかる方もいるかも知れませんね。街の規模はそれほど大きくなく、面積は約 120 平方 km、人口は 13 万人弱で、その約 2 割を学生が占めています。ゲッティンゲンから東に数十 km も行けば、かつての東西ドイツの国境があり、今でも旧東ドイツが築いた壁や監視塔を見ることができます。

ゲッティンゲンのシンボルは、街の中心にあるゲンゼ・リーゼル (Gaenseliesel) の噴水です。繊細で美しいリーゼル像は、街の人たちの待ち合わせスポットにもなっています。ゲンゼとはガチョウのことで、ゲンゼ・リーゼルはガチョウ番の娘リーゼル、或いはガチョウ姫リーゼルと訳されているようです。ちなみに、ゲッティンゲン大学には、博士号を取得した人が大学からゲンゼ・リーゼルまで友人達に祝われながらパレードをし、最後にリーゼル像にキスをする、という伝統があるそうです。

ところで、岡山とゲッティンゲンには、ひとつ共通点があります。それは、自転車を利用する人がとても多いということ。市内は平地が多く、道路を多くの自転車が行き交っています。当然、ゲッティンゲン大学の構内でもたくさんの自転車を見掛けるのですが、講義棟の前にずらりと並ぶ学生の自転車を見て、ふと、岡大を思い出すことがあります。

法学部准教授 一原 亜貴子

---

○ 法学部からのお知らせ

---

☆岡山大学法学部・法学会講演会

日時：2011 年 12 月 21 日 (水) 14:30~16:00

場所：文法経 14 番講義室

演題：医療訴訟の現状と課題

講師：石川寛俊 弁護士

---

○ 最近の話題

---

☆外交講座 (法学会講演会) が開催されました。

講師：馬場 隆治 (外務省国際法局国際法課課長補佐)

テーマ：「外交実務と国際法～東日本大震災後の対応を題材に～」

日時：2011 年 12 月 12 日 (月) 10:25~11:55

場所：文法経講義棟 20 番教室

2011 年 12 月 12 日 (月) に外交講座 (法学会講演会) を開催しました。この講演会は、外務省国内広報課による事業の一環でもあり、法学部の国際法関係教員が希望のテーマを申請し実現したものです。今回は、外務省国際法局国際法課課長補佐の馬場隆治さんをお迎えし、「外交実務と国際法」と題して、東日本大震災後の汚染水海洋放出を具体例としつつ、外交における国際法の役割や働きについてお話し頂きました。当日、会場には 200 名以上の学生が集まり、質疑応答を含めて大盛況でした。

- 
- ・本メルマガは、毎月 2 回程度配信しています。
  - ・法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。  
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
  - ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
  - ・本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。  
<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>
  - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho@law.okayama-u.ac.jp) まで。